

むしくいたしざん①（ふくろの なかの かず）

1ねんせい／ふくろにかくれた かずを みつける 7もん

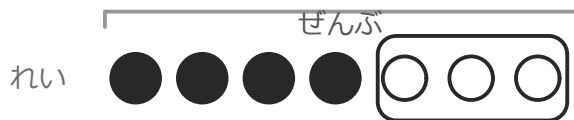
なまえ _____

ひづけ _____

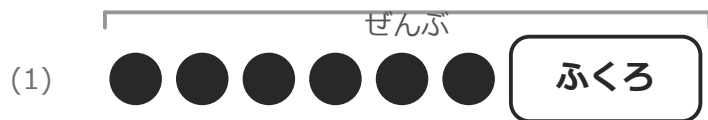
おはじきが ふくろにかくれています。

ぜんぶの かずは = の みぎにかいてあります。

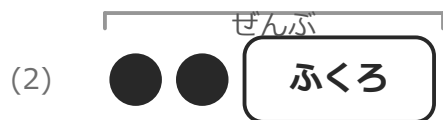
ふくろの なかの かずを、□の なかに かきましょう。



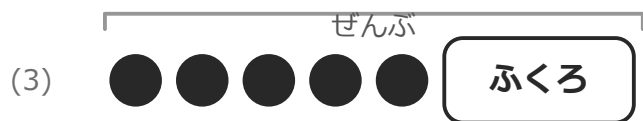
$$4 + \boxed{3} = 7$$



$$6 + \boxed{} = 7$$



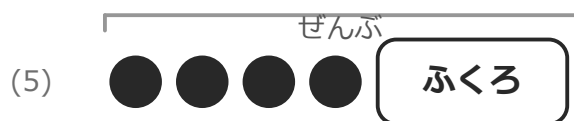
$$2 + \boxed{} = 4$$



$$5 + \boxed{} = 9$$



$$2 + \boxed{} = 5$$



$$4 + \boxed{} = 10$$



$$1 + \boxed{} = 6$$



$$1 + \boxed{} = 8$$

おうちの方へ（すすめかた）

まず れいを いっしょに 読みます。ふくろの なかは 見えないので、ぜんぶの かずと 見えている ●から 考えます。ゆびで ●を さして かぞえながら 取りくむと 分かりやすく なります。



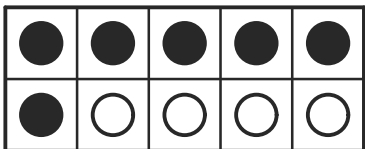
むしくい たしざん② (10の へやの あき)

1ねんせい／10になる まで あと いくつ 7もん

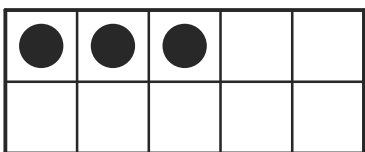
なまえ _____

ひづけ _____

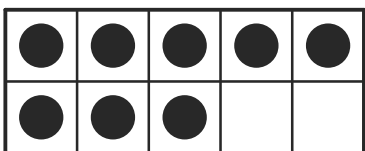
10の へやに ●が ならんで います。
あと いくつで 10に なりますか。
□の なかに かきましょう。

れい  10の へや

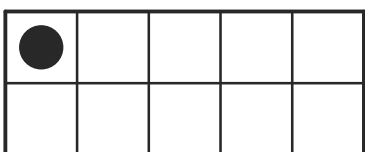
$$6 + \boxed{4} = 10$$

(1)  10の へや

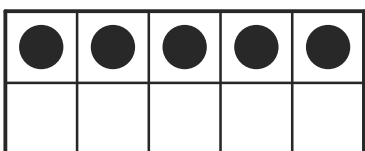
$$3 + \boxed{} = 10$$

(2)  10の へや

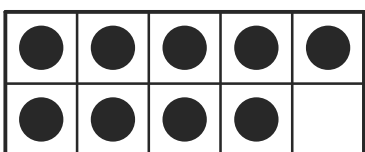
$$8 + \boxed{} = 10$$

(3)  10の へや

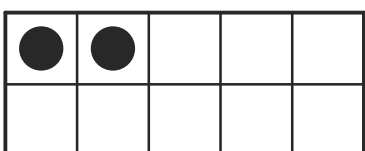
$$1 + \boxed{} = 10$$

(4)  10の へや

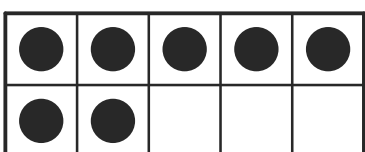
$$5 + \boxed{} = 10$$

(5)  10の へや

$$9 + \boxed{} = 10$$

(6)  10の へや

$$2 + \boxed{} = 10$$

(7)  10の へや

$$7 + \boxed{} = 10$$

おうちの方へ (すすめかた)

10の へやの ●を 数え、あいている ますが いくつ あるかを たしかめてから □に 書きます。
れいを いっしょに 読んでから、1もんずつ 1人で とかせます。



むしくいたしざん③（10を こえる かず）

1ねんせい／10を こえる ふくろの かず 7もん

なまえ _____

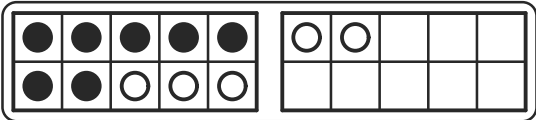
ひづけ _____

10の へやが ふたつ あります。

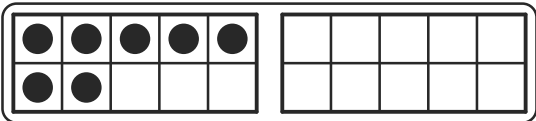
ふくろの ●を へやに いれて、ぜんぶの かずに します。

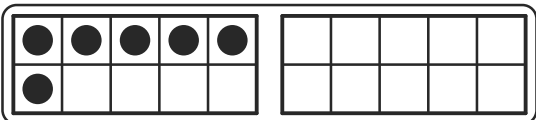
ひとつめの へやが 10に なるまで はいり、のこりは ふたつめに はいります。

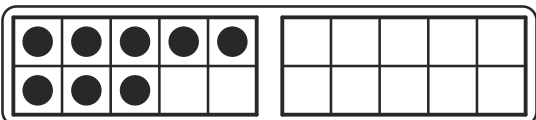
ふくろの なかの かずを、□の なかに かきましょう。

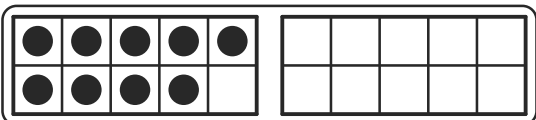
れい  ← ふくろ $7 + \boxed{5} = 12$ ^{ぜんぶ}

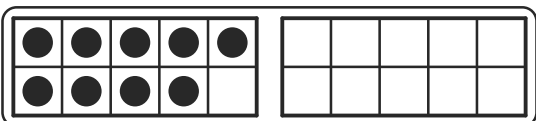
あと 3で 10 10より 2こ

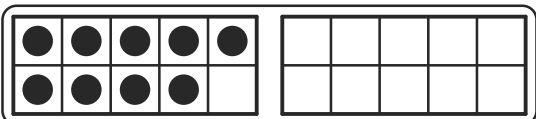
(1)  ← ふくろ $7 + \boxed{} = 16$ ^{ぜんぶ}

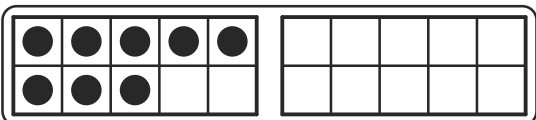
(2)  ← ふくろ $6 + \boxed{} = 13$ ^{ぜんぶ}

(3)  ← ふくろ $8 + \boxed{} = 11$ ^{ぜんぶ}

(4)  ← ふくろ $9 + \boxed{} = 15$ ^{ぜんぶ}

(5)  ← ふくろ $9 + \boxed{} = 14$ ^{ぜんぶ}

(6)  ← ふくろ $9 + \boxed{} = 17$ ^{ぜんぶ}

(7)  ← ふくろ $8 + \boxed{} = 12$ ^{ぜんぶ}

おうちの方へ（すすめかた）

10の へやは 2つです。まず 1つ目の へやが 10に なる まで、つぎに 10より おおい ぶんを 考えます。

れいの 図の したの ことばを いっしょに 読んでから、1人で とかせます。



むしくいたしざん④ (□の ばしょが かわる)

1ねんせい／ふくろが ひだりに くる もんだいが おおい 7もん

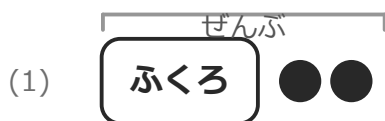
なまえ _____

ひづけ _____

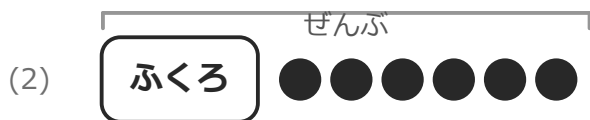
ふくろは ●の ひだり・みぎ どちらにも あります。
えの ふくろと しきの □は おなじ がわに あります。
ぜんぶの かずは =の みぎ です。
□の なかに かきましょう。



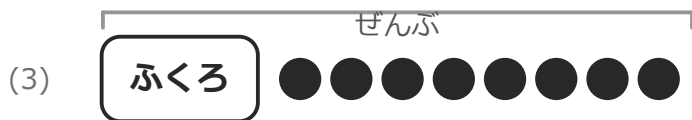
$$\boxed{3} + 5 = 8$$



$$\boxed{} + 2 = 3$$



$$\boxed{} + 6 = 14$$



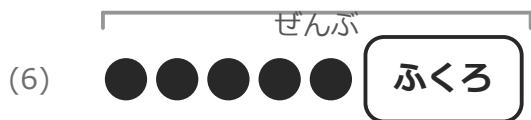
$$\boxed{} + 8 = 13$$



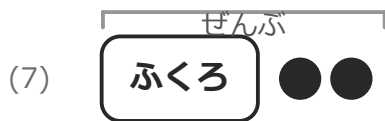
$$1 + \boxed{} = 4$$



$$\boxed{} + 6 = 8$$



$$5 + \boxed{} = 11$$



$$\boxed{} + 2 = 6$$

おうちの方へ (すすめかた)

ふくろは ●の ひだりにも みぎにも あります。まず ふくろが どちらがわに あるかを たしかめます。
ふくろの ばしょを ゆびで さしてから、□に かずを 書かせて ください。



むしくい たしざん⑤ (ずが ない むしくい)

1ねんせい／ずが ない もんだいを ぼうで とく 7もん

なまえ _____

ひづけ _____

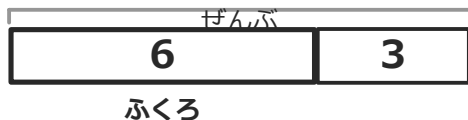
ずは ありません。

ふくろを じぶんで ぼうに かいて、□の なかに かずを かきましょう。

ぼうは れいと おなじ かたちで、2つに わけて かずを かきます。

ふくろの ぶぶんの かずが □に はいります (れいでは 6)。

れい



$$\boxed{6} + 3 = 9 \quad \text{ぜんぶ}$$

(1)

ずを かく ところ

$$\boxed{} + 7 = 9 \quad \text{ぜんぶ}$$

(2)

ずを かく ところ

$$2 + \boxed{} = 11 \quad \text{ぜんぶ}$$

(3)

ずを かく ところ

$$2 + \boxed{} = 7 \quad \text{ぜんぶ}$$

(4)

ずを かく ところ

$$\boxed{} + 4 = 5 \quad \text{ぜんぶ}$$

(5)

ずを かく ところ

$$\boxed{} + 7 = 11 \quad \text{ぜんぶ}$$

(6)

ずを かく ところ

$$9 + \boxed{} = 12 \quad \text{ぜんぶ}$$

(7)

ずを かく ところ

$$\boxed{} + 1 = 9 \quad \text{ぜんぶ}$$

おうちの方へ (すすめかた)

ずは ありません。ぼうの 図は れいを見て まねして かきます。かかなくても 計算だけで とけます。

□が ひだりの もんだいも みぎの もんだいも、ぜんぶの ながさは =の みぎです。

